

推進方向 4

多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援

現状と課題

転出入者の多い千歳市では、様々な文化意識を持つ人材が多く在住しています。

これまで、千歳市の郷土文化を生かした様々な文化活動の支援や、新たな分野の芸術文化鑑賞機会を提供してきましたが、千歳市で培われてきた郷土文化の理解を深めるとともに、様々な芸術文化を受け入れ、新しい地域文化を創造する環境づくりが必要とされています。

近年、インターネットなど、様々な情報媒体を通じて、市民が求める情報を簡単に伝えることができるようになってきました。

これまで、情報紙やインターネットなどの情報媒体を利用し、市民へ様々な芸術文化に関する情報を提供してきましたが、市民が芸術文化を通して豊かな生活を送るためには、今後も引き続き、芸術文化活動に関する多様な情報を、素速く、適確に、平等に得ることができる環境が必要とされています。

取組概要

芸術文化活動を行う個人や団体の連携を図るとともに、千歳市の地域文化の創造を目指す活動に対して、より一層の支援に努めます。

推進方向 4 における取組方策と主要事業の体系

推進方向 4

多様な文化鑑賞機会の充実と文化活動の支援

【取組方策 4 - 1】文化鑑賞機会の充実と活動の支援

< 主要事業 > 「市民文化センター自主事業」

【取組方策 4 - 2】文化鑑賞に関する情報提供の充実

< 主要事業 > 「市民文化センターだよりの発行」

< 主要事業 > 「生涯学習情報メールマガジン配信事業」

【取組方策 4 - 3】読書環境の充実

< 主要事業 > 「図書館運営事業」

【取組方策 4 - 4】文化関係団体やサークルなどの育成と活動の支援

< 主要事業 > 「社会教育関係団体登録制度」

【取組方策 4 - 5】活動成果を発表する機会の充実

< 主要事業 > 「文化活動支援事業」

...後期計画追加事業

【取組方策 4 - 1】

文化鑑賞機会の充実と活動の支援

市民が親しみやすく芸術文化にふれることができるよう、市民が求めるニーズを的確に把握し、魅力的で優れた芸術文化を鑑賞する機会の充実に努めます。

（主要事業）：「市民文化センター自主事業」

市民ニーズを反映した魅力のある事業を実施するなど、多様な文化鑑賞機会を充実します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
市民文化センター 自主事業件数(年間)	38 件	40 件	42 件	42 件

< 前期計画期間の取組 >

市民文化センターでは市民の文化鑑賞機会の充実を図るため、千歳市の指導と仕様に基づいてコンサートや演劇鑑賞、絵画展などの自主事業を指定管理者が実施しました。また、芸術文化活動を行っている社会教育関係団体の利用料金を減免し活動を支援するとともに、市民ニーズを踏まえた幅広いジャンルの優れた芸術文化鑑賞機会の充実に努めました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
市民文化センター 自主事業件数(年間)	30 件	35 件	35 件	35 件

< 後期計画における事業概要 >

市民が親しみやすく芸術文化にふれることができるよう、アンケート調査等により市民ニーズを把握し、指定管理者の企画力を生かした魅力的で優れた芸術文化鑑賞機会の充実に努めます。

また、文化活動を行う市内の社会教育関係団体に対し、市民文化センター・市民ギャラリーの利用料金を減免し、活動を支援します。



【取組方策 4 - 2】

文化鑑賞に関する情報提供の充実

市民が多様な優れた文化にふれ、興味を持つための動機付けとなるよう、報道機関や情報紙、インターネット等の広報媒体を利用し、広く市民に芸術文化に関する情報提供を行うよう努めます。

(主要事業):「市民文化センターだよりの発行」

多様な文化鑑賞に関する情報提供を充実するため「市民文化センターだより」を発行し、親しみやすい紙面づくりに努めます。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
芸術文化鑑賞機会に関する 情報提供の充実(市民文化セ ンターだよりの年間発行回数)	12 回	12 回	12 回	12 回

< 前期計画期間の取組 >

市民文化センター及び市民ギャラリーで行われる多様な芸術文化の鑑賞や参加の機会を広く市民に紹介するために、「市民文化センターだより」を発行し市内の全世帯に配布しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
市民文化センターだよりの 年間発行回数	12 回	12 回	12 回	12 回

< 後期計画における事業概要 >

引き続き、「市民文化センターだより」の市内全戸配布により、広く市民に対する芸術文化に関する情報提供の充実に努めます。

(主要事業): <追加事業> 「生涯学習情報メールマガジン配信事業」

様々な生涯学習事業の開催情報を掲載したメールマガジンを配信し、市民の情報収集の利便性向上を図ります。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
メールマガジン 登録者数				200 名

<前期計画期間の取組>

生涯学習の推進においては、多くの市民に学びの機会を提供することが重要です。各事業で、より多くの市民の参加が得られるよう周知の強化を図るとともに、市民の情報収集の利便性を高め、サービスの向上を図ることを目的に、平成 26 年 9 月から生涯学習情報メールマガジンの配信を開始しました。

教育委員会主催事業をはじめ、社会教育関係団体等が主催する各種講演会や展示会などの開催情報を掲載し、登録者に対し月 2 回程度配信しました。

<後期計画における事業概要>

メールマガジン登録者数を成果指標とし、より多くの市民に生涯学習情報の提供を行います。

平成 26 年度末時点での登録者は 67 名となっていますが、平成 32 年度の目標値を 200 名とし、各種事業の実施の際や広報等を通じて、登録者の増加を図り、多様な文化鑑賞に関する情報提供の充実に努めます。

【取組方策 4 - 3】

読書環境の充実

市立図書館は各世代に対応した図書の充実に努めます。また、子どもたちや子育て中の親などが読書に親しめるよう、計画的な環境づくりに努めます。

(主要事業)：「図書館運営事業」

各世代が読書に親しめる図書の充実や、「おはなし会」などの読書普及活動の実施と支援を行います。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
市立図書館延べ貸出人数 (年間)	130 千人	134 千人	136 千人	130 千人

< 前期計画期間の取組 >

市立図書館では、指定管理者が千歳市の仕様に基づく読書普及活動を実施しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
市立図書館延べ貸出人数 (年間)	130 千人	126 千人	124 千人	120 千人

< 後期計画における事業概要 >

市立図書館には、本を借りるだけでなく、勉強や研究、映像鑑賞など様々な目的を持った市民が来館することから、アンケート調査等により市民ニーズを把握するとともに、指定管理者の企画力を生かして、市民の読書活動の推進に努めます。

また、「千歳市子どもの読書活動推進計画（第2次）」に基づき、子どもたちが、あらゆる機会と場所において自主的な読書活動ができるよう、読書環境の充実に努めます。



【取組方策 4 - 4】

文化関係団体やサークルなどの育成と活動の支援

地域における文化活動の担い手として、芸術家や指導者など、文化芸術活動に携わる幅広い人材の発掘や団体・サークルの育成と活動の支援に努めます。

また、市民で組織された教育、文化、スポーツなどの学習活動団体を社会教育関係団体として登録を行い、公共施設使用料の減免や市民への活動情報の提供など、市民団体の学習活動を支援します。

(主要事業)：「社会教育関係団体登録制度」

文化関係団体やサークルなどの育成と活動を、「社会教育関係団体登録制度」を通じて支援します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
社会教育関係団体登録数	357 団体	380 団体	400 団体	400 団体

< 前期計画期間の取組 >

スポーツ、レクリエーション、文化芸術、ボランティアなど、市民の学習活動や社会参加活動を支援するため、自主的な運営活動を行っている団体を社会教育関係団体として登録し、活動に関する情報提供や公共施設使用料の 1/2 減免などの支援を実施しました。このほか登録団体への支援策としては、平成 25 年度には市ホームページでの登録団体の活動状況等の周知を開始し、平成 26 年度からは生涯学習情報メールマガジンにおいて登録団体の事業の周知を行っています。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
社会教育関係団体登録数	403 団体	348 団体	374 団体	393 団体

< 後期計画における事業概要 >

登録団体のネットワーク体制の構築などさらなる支援策として、千歳市文化芸術団体等連絡交流会を開催するなど、引き続き、社会教育関係団体の支援に努め、登録団体の増加を図ります。



【取組方策 4 - 5】

活動成果を発表する機会の充実

市民同士が切磋琢磨しながら文化意識を高めることができるよう、創作活動や成果発表の場の提供や表彰を行うなど、芸術文化活動に取り組む個人や団体のより活発な活動を推進します。

(主要事業): 「文化活動支援事業」

文化活動の成果を発表する機会の充実を図るため、「文化活動支援事業」を推進します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
様々な団体が連携して取り組む文化祭の実施数(チトセ市民芸術祭として実施した展示会や発表会の実施数)	15 回	15 回	15 回	15 回

< 前期計画期間の取組 >

様々な文化団体の発表の場である「チトセ市民芸術祭」の実施に係る運営費を補助し、市民の文化活動の促進と千歳市の文化の向上を図りました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
様々な団体が連携して取り組む文化祭の実施数	15 回	15 回	16 回	15 回

< 後期計画における事業概要 >

引き続き、市民の文化活動の促進と千歳市の文化の向上を図るため、「チトセ市民芸術祭」の開催を支援します。